

くじゅう連山

大分県 2023年 10月24日(法華院温泉山荘泊)~25日

長者原からの 三俣山



二日目は雲一つない快晴。法華院温泉山荘を気持ちよくスタート！

一日目 10月24日 <行程 5時間44分>

長者原駐車場 10:16 → 平治号銅像 10:27 → 雨ヶ池越への分岐 10:37 →
<自然研究路> → 鉢山道路 10:49 → 指山への分岐 10:57 →<鉢山道を進む>→
すがもり越への分岐 12:02 → すがもり越(休憩) 12:36 → 三俣山西峰 13:28 →
すがもり越 14:40 → 北千里ヶ浜 15:02 → 法華院温泉山荘(宿泊) 16:00

二日目 10月25日 <行程 3時間30分>

法華院温泉山荘 8:00 → 長者原への分岐 8:19 → 雨ヶ池越 9:18 →
タデ原(雨ヶ池越への分岐) 11:15 → 平治号銅像 11:25 → 長者原駐車場 11:30

家内とは5年ぶりのくじゅう登山。長者原から三俣山を経て法華院温泉山荘まで頑張りました。
くじゅうは秋真っ盛り。お天気にも恵まれて、とてもよい山行となりました。

一日目 10月24日 <行程 5時間44分>



長者原駐車場 10:16 ビジターセンター横の駐車場は満車
平日なのに道路を渡った駐車場もほぼ満車状態。準備を整えてスタート！



平治号銅像 10:27 安全登山を願って平治号にご挨拶



タデ原の木道を歩く



リンドウ(リンドウ科)
花言葉は「勝利」「正義感」



ヤマラッキョウ(ヒガンバナ科)
花言葉は「慎ましいあなた」



タデ原から黒岩山～上泉水山～下泉水山の稜線を眺める
この稜線は5月には馬酔木、6月にはミヤマキリシマがとても綺麗な隠れコースになる
長者原と牧の戸の周回コースがお勧めです。



雨ヶ池越への分岐 10:37 通過して自然研究路を進む
復路、森からこの分岐に出てくることになる。



雨ヶ池越への分岐道標
この自然研究路はいつ来ても気持ちいい
長者原を訪れたら是非歩いてもらいたい散歩道だ



自然研究路を歩いて鉾山道路へ向かう
木道が整備されていて歩き易い



鉾山道路 10:49 ここから暫く鉾山道(コンクリート道)を上っていく



指山への分岐を通過 10:57 左折すると指山は勿論、雨ヶ池へのコースにも続いている



一般車両通行禁止ゲートを通過 10:59 ゲート手前に5台程の駐車スペースがある
秋風に吹かれながら気分良く歩く。途中すがもり越への登山道分岐があるが、
我々は鉾山道(コンクリート道)を選んでのんびり歩くことにした。



大曲(おおまがり)登山口への分岐を通過 11:42

大曲(約10台)に車を止めると三俣山への近道になるが、シーズン中はすぐに満車となる。



危険地帯を足早に通過 11:56 この大岩が落ちてきたかと思うととても怖い



すがもり越への分岐 12:02 ここから左に下ってガレ場に入入！
硫黄山への鉱山道路は進入禁止！ロープが張られている。



不規則な岩場はとても歩き難い 12:27 足元に気を付けて一步一步
●黄色のマーカを探しながら進む



すがもり越の「愛の鐘」 12:36 以前(28年前まで)ここには「すがもり小屋」が存在した

ここに来ると、いつも思い出すことがある。それは1995年(平成7年)に硫黄山が噴火(257年振り)して小屋が閉鎖されたことだ。当時、家族5人でしばしばくじゅうを訪れていたが、硫黄山が噴火する4日前にすがもり小屋で休憩したことは今でも忘れられない。朝刊の一面で硫黄山の噴火写真を見たときは本当に驚いた。と言うより「ゾッ」とした。以後5年間、またいつ噴火するかも知れない「すがもり小屋」には寄り付かなかった。小屋は再建を目指していたようだが、再建実らず1998年に取り壊しとなった。現在の形になったのは2002年頃。



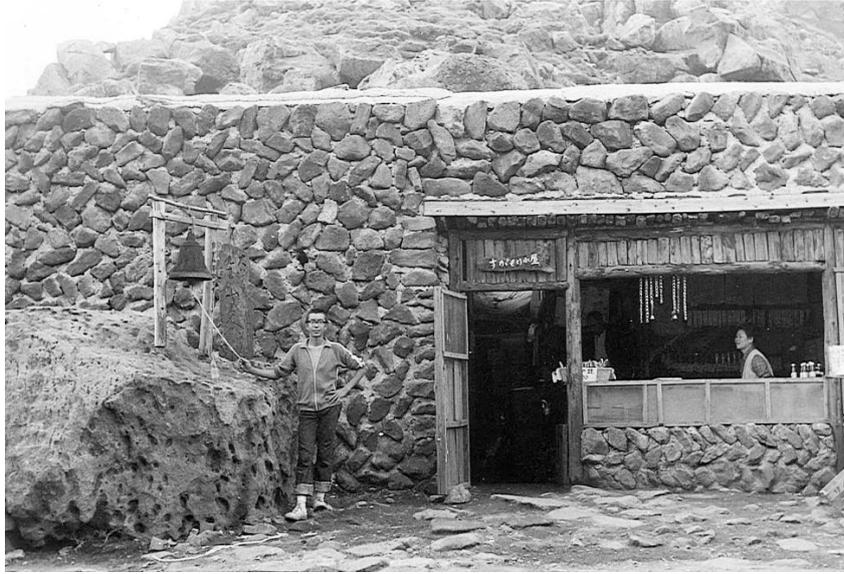
<1995年10月7日撮影> 硫黄山噴火の4日前

当時、4歳、6歳、7歳の息子たちはくじゅう連山を駆け回っていた。

以後、息子たちが高校生になるまで、家族5人でくじゅうのフィールドを一緒に楽しんだ。

そんな思い出に浸りながら、今は家内と二人でのんびり登山。

余談になりますが、すがもり小屋での思い出写真をもう1枚。



<1973年8月23日撮影> 「すがもり小屋」で「愛の鐘」を鳴らす中学3年生の私
この「愛の鐘」は1962年1月に北千里ヶ浜で9名(内7名死亡)の方が遭難されたことをきっかけに慰霊の意味を込めて設置されたとのこと。現在もすがもり越で鐘の音が響きます。
上の写真は私が中学3年生の時、中学校のテニス部でくじゅう登山をした時の写真です。
登山途中「すがもり小屋」に立ち寄りました。小屋の中のお二人は管理人さんでしょうか？

当時、テニス部男女合わせて約20人。汽車とバスで長者原へ。

キャンプ場で飯盒炊飯。カレーを食べてキャンプファイヤー。もちろんテント泊。

翌早朝から長者原～鉾山道～すがもり小屋～北千里～くじゅう別れ～久住山山頂の往復。



久住山山頂にて、K先生と私 <1973年8月23日撮影> なんと50年前の写真

テニス部顧問 K先生の引率で久住山登頂！

記念の山頂碑も立て、下山時は仲間と長者原まで走ったことを覚えている。

思い出に浸りながらの休憩もそこそこに重い腰を上げる



すがもり越から紅葉真っ盛りと聞いている三俣山の大鍋を目指す！ 12:53 行くぞ～



振り返るとすがもり越の休憩所も小さくなった 12:57 この時間は下山する人ばかり
すれ違う人からは「大鍋は綺麗でしたよ～」と弾む声



更に上って下を覗き込む 13:11 高度感を楽しむ



三俣山西峰(休憩) 13:28 必死に歩いて漸く西峰に登頂
あと30分程歩けば三俣山本峰。
そうすれば紅葉ピークの大鍋を覗き込むことが出来る。
しかし本峰がやたらと遠くに見える。
もう少し歩いてみようと思ったが…。



本峰を目指して大鍋を覗き込むはずだったが・・・ どうやらここまでか・・・ 13:49
これから先の行程もあるので、無理せずに大鍋を諦めることに・・・(勇気ある撤退?)



西峰肩のケルン越しに見るくじゅう連山 13:53 これより下山開始



滑らないようにゆっくり慎重に下っていく 14:29



すがもり越 14:40 フウターやっと着いた～
家内はザックをデポしていた

すがもり越からまたガレ場を下り、着いたところは？



北千里ヶ浜 15:02 ガレ場の後のフラットな登山道はありがたい



北千里ヶ浜から、今下って来たすがもり越方面を見上げる
さあ本日泊まる法華院温泉山荘を目指そう！ちょっと元気が出てくる。



北千里ヶ浜は荒涼とした風景で異空間だが、歩き易くてルンルンウォーキング。



ここは霧が出ると迷いやすい場所。ケルンは大切な目印となる。
天気予報は晴れなのに、少し雲が広がってきた。



北千里ヶ浜の次に目指すのは法華院温泉山荘 15:23 温泉が待っている
ガレ場をトラバースすると坊ヶツルが見えてきた。テント場も見える。



法華院温泉山荘もあと少し 15:57 鹿児島からの気さくなお嬢さんと話しながら下る



法華院温泉山荘 16:00 チェックインの前に鹿児島からのお嬢さんと写真を撮りあった
長者原から5時間44分の山歩き。スマホの歩数計は14490歩だった。



チェックインは5組ほど並んだ。JAFの会員証提示で一人500円値引きしてもらえました。
割引対象者はモンバル、JAF、日本山岳会、JWAF(日本勤労者山岳連盟)の会員です。

- ★夕食は18時
- ★朝食は6時45分
- ★お風呂は20時30分まで(残念ながら翌朝の入浴は出来なくなりました)



我々の使用する18号室。引き戸を開けるとフローリングにベッド。
今まで畳の部屋しか知らなかったのが驚いた。



廊下にはストーブが設置されて暖かい。(部屋の中にはない)
疲れ果てたのか、ビールが効いたのか、温泉と夕食を終え21時には寝てしまった(笑)

二日目 10月25日 <行程 3時間30分>



法華院温泉山荘 8:00 受付で「お世話になりました～」と挨拶してスタート
次は孫を連れて泊りたいですね～



二日目もお天気最高！朝日が眩しい。
疲れも癒えて元気、元気！



「今日も頑張るぞー！」って、長者原に戻るだけです(笑)
脚力のある方はたぶん大船山に登って帰ると思いますが…



雲一つない完璧な快晴



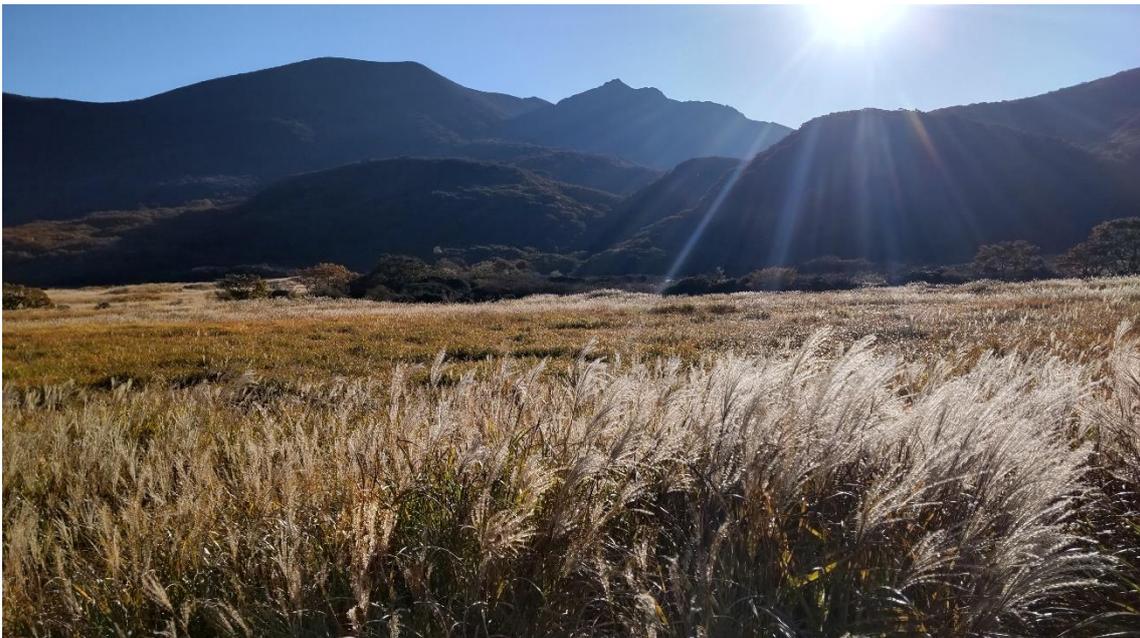
正面は平治岳 8:07 6月には山頂がピンクに染まる
ミヤマキリシマの季節にも登りたいですね



三俣山もクッキリ



四面山なる 坊ヶツル 8:10 坊ヶツルの野焼きを一度見てみたい
夏はキャンプの 火を囲み
夜空を仰ぐ 山男
無我を悟るは この時ぞ



朝日に照らされるススキ一面の坊ヶツル。逆光でススキの穂がキラキラ輝いている。
北大船山～大船山の稜線は格好良くて大好きだ。



三俣山南峰への分岐 8:13 このルート、南峰に到達するには半端ない急登を覚悟です！
1day17サミツツの定番ルートとなっているようだ。挑戦しようかな？(笑)



長者原への分岐 8:19 帰りたくないのが本音



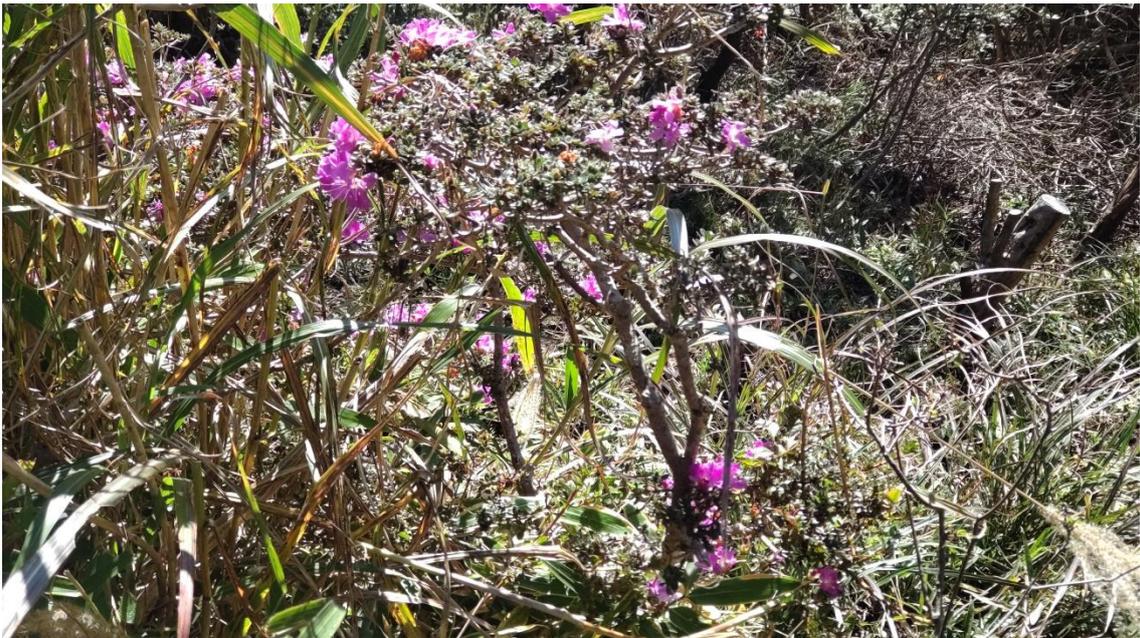
さらば坊ヶツル 8:23 なんとなく寂しい



馬酔木(あせび)のトンネルに突入 8:25



ベンチのある休憩ポイント 8:56 ここで坊ヶツルは見納めとなる



ベンチの裏に何故かミヤマキリシマが咲いていた



時折、真っ赤に染まった楓の木に出会う 9:04



赤くて可愛い落ち葉 9:02



こんな大きな落ち葉もある 9:08



雨ヶ池越 9:18 三俣山の裾野が色付いてとても美しい景色



絶好のお天気とロケーションの中、心地よい秋風に吹かれて幸せ実感



<雨ヶ池について> (説明看板より)

このあたりの窪地は湿地帯で雨が降ると池が出来ます。雨ヶ池はノハナショウブやヤマラッキョウの群生地となっており、周辺にも多くの貴重な植物が自生しています。貴重な植生を荒らさないように木道から楽しみましょう。

- ★クサボケ 4～5月 ★イワカガミ 5～6月 ★キスゲ 7～8月
- ★ノハナショウブ 7～8月 ★マツムシソウ 8～9月 ★ヤマラッキョウ 9～10月



三俣山を正面に見ながら長者原へ向かう 9:27



ベンチのある展望台 9:34 団体さんが休憩していたのでそのまま通過した



紅葉の落ち葉を踏みながら進む 9:35 秋ですね～



土石流跡を横断 10:00 爪痕が酷い



指山への分岐を通過 10:08
この辺りが坊ヶツルと長者原の中間地点かな？



ベンチのある休憩ポイントにて小休憩 10:32



現在地 MAP を見ると・・・まだまだ先は長い



ここは外来植物の種子除去マットがあるゲートなんだけど・・・ 11:03



以前はここで靴底をゴシゴシと擦っていたが・・・今や全く用を成していない
このような自然保護活動は一過性に終わらず、是非継続して欲しいものだ。



登山届BOXを通過 11:14



★くじゅう連山を愛する皆様へ★

九重山は噴火の可能性のある活火山です。登山は自己責任で！

九重山は大分県玖珠郡九重町南部から竹田市北部にかけて東西15km にわたって分布する火山群の総称です。

今日現在➡ [ただいまの噴火警戒レベルは](#) ⇒ [レベル1](#)です。山頂まで登山ができます。

<説明看板より抜粋>



タデ原(雨ヶ池への分岐) 11:15 昨日スタート時に通過した分岐に戻って来た



ススキが背の高さ以上に伸びるタデ原 11:17



平治号銅像 11:25 平治号に無事下山のお礼



長者原駐車場 11:30

二日目は法華院温泉山荘から3時間30分の山歩き。スマホの歩数計は11332歩だった。

二日間ともお天気に恵まれてとても快適な秋山登山となった。

下山後は九重観光ホテルの温泉で汗を流してさっぱり。

楽しい二日間でした。お疲れさまでした。